

科目名	総合日本語Ⅱ										
科目名(英)											
単位数	11単位		時間数		170時間		担当者		河崎・日浦・高田		
実施年度	2020年度		実施時期		後期		担当者実務経験				
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年										
授業概要	『テーマ別 中級から学ぶ日本語 三訂版』(研究社)を使用して、N2レベルの漢字・語彙・文法などを学習する。各課の読み物を読み、それについて日本語で意見交換をする。日本語能力試験のために読解の練習をして、読解の力をつける。また、日本語能力試験の対策授業、模擬試験も随時実施する。										
授業形式	講義: ○		演習: △		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○	○				N2レベルの言葉・文法を覚え、使うことができる。					
		○				N2レベルの文章を読むことができる。					
		○				日常身近に体験する出来事や社会的な話題について、感想を述べることができる。					
		○				異なる視点や考え方を持つ相手とも、興味・関心を持って情報や意見の交換ができる。					
テキスト・教材 参考図書	・平井悦子 三輪さち子 著『中級へ行こう 第2版』スリーエーネットワーク 2016年 ・松田浩志 亀田美保 著『テーマ別中級から学ぶ日本語 三訂版』研究社 2014年										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	「中級へ行こう」1課～4課 復習					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)				
	2~5	「中級へ行こう」5課					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)				
	6~9	「中級へ行こう」6課					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)				
	10~13	「中級へ行こう」7課					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)				
	14~17	「中級へ行こう」8課					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)				
	18~21	「中級へ行こう」9課					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)				
	22~25	「中級へ行こう」10課					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)				
	26	確認テスト ・ 復習					確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)				
	27~30	「テーマ別中級から学ぶ日本語」第1課					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)				
	31~34	「テーマ別中級から学ぶ日本語」第2課					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)				
	35~38	「テーマ別中級から学ぶ日本語」第3課					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)				
	39	確認テスト ・ 復習					確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)				
	40~43	「テーマ別中級から学ぶ日本語」第4課					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)				
	44~47	「テーマ別中級から学ぶ日本語」第5課					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)				
	48~51	「テーマ別中級から学ぶ日本語」第6課					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)				
	52	確認テスト ・ 復習					確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)				
	53~56	「テーマ別中級から学ぶ日本語」第7課					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)				
	57~60	「テーマ別中級から学ぶ日本語」第8課					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)				
	61~64	「テーマ別中級から学ぶ日本語」第9課					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)				
	65~68	「テーマ別中級から学ぶ日本語」第10課					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)				
	69~74	日本語能力試験模擬試験(3回)					模擬試験を実施するので、復習すること。(1時間)				
	75~85	能力試験対策					学習した項目を復習すること(1時間)				
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	定期試験(筆記)		○	○				50%			



専門学校麻生工科自動車

科目名	会話Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	日浦 由布子	
実施年度	2020年度		実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	150時間以上の初級日本語の学習を終えた学生を対象とし、「総合日本語」の授業で学んだ文字語彙や文法および会話フレーズを用いて対話型コミュニケーションの練習を実施する。日常生活の身近な場面で、自分の言いたいことを伝え、日本人とコミュニケーションがとれるようになることを目指す。						
授業形式	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				テキスト内の会話フレーズ(28項目)を覚え、実際の日常生活で言えるようになる	
	○	○				身近で日常的な話題(趣味、週末の予定等)について会話ができる	
	○	○				相手の都合を聞いて、会う日時を決めることができる	
	○	○				驚き、嬉しさなどの自分の気持ちと、その理由を簡単な言葉で説明することができる	
テキスト・教材 参考図書	・田中よね他/『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版 本冊』/スリーエーネットワーク/2016年 ・斎藤仁志他/『シャドーイング 日本語を話そう・初～中級編』/くろしお出版/2007年 ・小林ひとみ/『新にほんご会話トレーニング』/アスク出版/2020年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション / みんなの日本語Ⅱ 31課 会話				自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)	
	2	みんなの日本語Ⅱ 32・33課 会話				自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)	
	3	みんなの日本語Ⅱ 34・35課 会話				自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)	
	4	みんなの日本語Ⅱ 36・37課 会話				自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)	
	5	みんなの日本語Ⅱ 復習 副詞・接続詞・会話表現のまとめⅠ				自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)	
	6	みんなの日本語Ⅱ 38・39・40課 会話				自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)	
	7	みんなの日本語Ⅱ 41・42課 会話				自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)	
	8	みんなの日本語Ⅱ 43・44課 会話				自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)	
	9	みんなの日本語Ⅱ 45・46課 会話				自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)	
	10	みんなの日本語Ⅱ 47・48課 会話 (使役を使ったフレーズ)				自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)	
	11	みんなの日本語Ⅱ 49・50課 会話 (敬語を使ったフレーズ)				自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)	
	12	新にほんご会話トレーニング ユニット1 電車に乗る(1)				自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)	
	13	新にほんご会話トレーニング ユニット2 電車に乗る(2)				自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)	
	14	新にほんご会話トレーニング ユニット3 電車に乗る(3)				自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)	
	15	新にほんご会話トレーニング 復習				自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)	
評価方法	(1)発表を数回実施する。(2)定期試験(会話)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○		○		50%
	発表	○	○		○		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名		聴解Ⅱ											
科目名(英)													
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	濱田 奈美子						
実施年度	2020年度		実施時期	後期		担当者実務経験							
対象学科・学年		日本語科(1年6か月)2年											
授業概要		初級日本語の学習を終えた学生を対象とする。この授業では、「総合日本語」の授業で学習した語彙や文法を聞き取る練習を行うとともに、日常生活で身近な場面で聞かれる表現を聞き取るための応用練習も実施していく。											
授業形式		講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標							
	○	○				総合日本語で習った文法を使った質問の意味を理解し、何かしらのアクションをすることができる							
	○	○				簡単な道順や乗り換えについての説明を聞いて、その説明どおりにできる							
	○	○				日常的な場面でゆっくりと話される会話であれば、内容が予測できる。							
テキスト・教材 参考図書		・牧野昭子他/『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版 聴解タスク25』/スリーエーネットワーク/2018年 ・有田聡子他/『日本語能力試験問題集 N4聴解スピードマスター』/Jリサーチ出版/2017年 ・棚橋明美他/『日本語能力試験問題集 N3聴解スピードマスター』/Jリサーチ出版/2010年											
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示					
	1	オリエンテーション / N4聴解スピードマスター模擬試験①						課題プリントを自分で音読練習(10分)。未知語の意味を確認して覚えること					
	2	みんなの日本語Ⅱ 聴解タスク31・32課 / N4聴解スピードマスター実践練習問題						聴解タスク31・32課を自分で音読練習(20分)、シャドーイング練習(10分)。未知語の意味を確認して覚えること					
	3	みんなの日本語Ⅱ 聴解タスク33・34課 / N4聴解スピードマスター実践練習問題						聴解タスク33・34課を自分で音読練習(20分)、シャドーイング練習(10分)。未知語の意味を確認して覚えること					
	4	みんなの日本語Ⅱ 聴解タスク35・36課 / N4聴解スピードマスター実践練習問題						聴解タスク35・36課を自分で音読練習(20分)、シャドーイング練習(10分)。未知語の意味を確認して覚えること					
	5	みんなの日本語Ⅱ 聴解タスク37・38課 / N4聴解スピードマスター実践練習問題						聴解タスク37・38課を自分で音読練習(20分)、シャドーイング練習(10分)。未知語の意味を確認して覚えること					
	6	N4聴解スピードマスター模擬試験②・FB						課題プリントを自分で音読練習(10分)。未知語の意味を確認して覚えること					
	7	みんなの日本語Ⅱ 聴解タスク39・40課 / N4聴解スピードマスター実践練習問題						聴解タスク39・40課を自分で音読練習(20分)、シャドーイング練習(10分)。未知語の意味を確認して覚えること					
	8	みんなの日本語Ⅱ 聴解タスク41・42課 / N4聴解スピードマスター実践練習問題						聴解タスク41・42課を自分で音読練習(20分)、シャドーイング練習(10分)。未知語の意味を確認して覚えること					
	9	みんなの日本語Ⅱ 聴解タスク43・44課 / N4聴解スピードマスター実践練習問題						聴解タスク43・44課を自分で音読練習(20分)、シャドーイング練習(10分)。未知語の意味を確認して覚えること					
	10	みんなの日本語Ⅱ 聴解タスク45・46課 / N3聴解スピードマスター実践練習問題						聴解タスク45・46課を自分で音読練習(20分)、シャドーイング練習(10分)。未知語の意味を確認して覚えること					
	11	みんなの日本語Ⅱ 聴解タスク47・48課 / N3聴解スピードマスター実践練習問題						聴解タスク47・48課を自分で音読練習(20分)、シャドーイング練習(10分)。未知語の意味を確認して覚えること					
	12	みんなの日本語Ⅱ 聴解タスク49・50課 / N3聴解スピードマスター実践練習問題						聴解タスク49・50課を自分で音読練習(20分)、シャドーイング練習(10分)。未知語の意味を確認して覚えること					
	13	N3聴解スピードマスター模擬試験①・FB						間違えた問題の見直しをすること(30分)					
	14	N3聴解スピードマスター模擬試験①FB/模擬試験②						間違えた問題の見直しをすること(30分)					
	15	N3聴解スピードマスター模擬試験②FB						間違えた問題の見直しをすること(30分)					
評価方法	(1)定期試験を実施する。(2)授業の中で小テストを10回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。												
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合	
	定期試験	○		○								50%	
	小テスト	○		○								50%	
履修上の注意		出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。 小テスト(ディクテーション)を行うので、必ず音声練習・シャドーイング練習をすること。											

専門学校麻生工科自動車シラバ

科目名	作文Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	日浦 由布子	
実施年度	2020年度		実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	「総合日本語」で学習した文字・語彙・文法を作文として書くことで、日本語の使い方を身につけることができることを目的として行う。また、作文を書くことによって、自分の知識・情報・思考を整理して、言いたいことを表現できるようになる。						
授業形式	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		N4レベル以上の文法を用いて、自分の言いたいことを書くことができる	
		○				日本の原稿用紙の書き方を守って書くことができる	
				○		課題に積極的に取り組み、指定された課題を実施することができる	
テキスト・教材 参考図書	・門脇薫・西馬薫/『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版 やさしい作文』/スリーエーネットワーク/2018年 ・富岡純子/『日本語作文Ⅰ-身近なトピックによる表現練習-』/専門教育出版/2005年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	やさしい作文 ユニット8 「旅行」				宿題:清書を書いてください(60分)	
	2	やさしい作文 ユニット9 「もしわたしが二人いたら」				宿題:清書を書いてください(60分)	
	3	やさしい作文 ユニット10 「趣味」				宿題:清書を書いてください(60分)	
	4	やさしい作文 ユニット11 「楽しい1日」				宿題:清書を書いてください(60分)	
	5	日本語作文Ⅰ テーマ「スポーツ」 / 普通体で書く練習				宿題:清書を書いてください(60分)	
	6	日本語作文Ⅰ テーマ「高校生活」 / 普通体で書く練習				宿題:清書を書いてください(60分)	
	7	やさしい作文 ユニット12 「日本でびっくりしたこと」				宿題:清書を書いてください(60分)	
	8	やさしい作文 ユニット13 「わたしの夢」				宿題:清書を書いてください(60分)	
	9	七夕のお願い事				宿題:清書を書いてください(60分)	
	10	やさしい作文 ユニット14 「隣の人にひとこと」				宿題:清書を書いてください(60分)	
	11	やさしい作文 ユニット15 「手紙」				宿題:清書を書いてください(60分)	
	12	やさしい作文 ユニット18 「スマートフォン 必要? 不必要?」				宿題:清書を書いてください(60分)	
	13	やさしい作文 ユニット19 「わたしの周りの最近のニュース」				宿題:清書を書いてください(60分)	
	14	やさしい作文 ユニット16 「ごみ:国との比較(1)」				宿題:清書を書いてください(60分)	
	15	やさしい作文 ユニット17 「交通:国との比較(2)」				宿題:清書を書いてください(60分)	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)課題提出(清書)を毎回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○		○		50%
	課題提出	○	○		○		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	読解Ⅱ							
科目名(英)								
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	副島 弘子	
実施年度	2020年度		実施時期	後期		担当者実務経験		
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年							
授業概要	前半は「新完全マスター読解N4」(スリーエーネットワーク出版)を使用して、文章を読むための基礎的な練習をする。後半は「新完全マスター読解N3」を使用して、書き言葉の特徴を理解するための練習をし、さらに読むスピードを上げられるように、様々な文章を素材に練習を行う。							
授業形式	講義: △		演習: ○	実習:		実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○	◎				350～550文字程度の文章を読んで、だいたい理解でき、その文章に関する質問に答えられる		
	○	◎				エッセイや手紙などのテキストを読んで、だいたい理解でき、その文章に関する質問に答えられる		
	○	◎				広告、パンフレットなどの情報素材(600字程度)の中から必要な情報を見つけられる		
テキスト・教材 参考図書	・田代ひとみ 他 著 / 『新完全マスター読解N4』 / スリーエーネットワーク / 2018年 ・田代ひとみ 他 著 / 『新完全マスター読解N3』 / スリーエーネットワーク / 2014年							
授業計画		授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	「新完全マスター読解N4」 第1部1～4、第2部(短文)1～5					第1部をもう一度読み直す。 (短文)1～5を読み直す。(30分)	
	2	第1部5～8、第2部(中文)6, 7					第1部を読み直す。 第2部(情報検索)8, 9. を解く。(50分)	
	3	第3部(短文)10～15 (情報検索)38, 39					(短文)16～19を解く。(50分)	
	4	第3部(中文)28～30 (情報検索)40, 41					(短文)20～24を解く。(50分)	
	5	第3部(中文)31～33 (情報検索)42					(短文)25～27を解く。(50分)	
	6	第3部(中文)34～37					(中文)34～37を読み直す。(30分)	
	7	「新完全マスター読解N3」 第1部(短文)1～4					(短文)1～4を読み直す。(30分) 新しい言葉を覚える。(20分)	
	8	第1部(短文・中文)5～8					(短文・中文)5～8を読み直す。(30分) 新しい言葉を覚える。(20分)	
	9	第1部(短文・中文)9～11					(短文・中文)9～11を読み直す。(30分) 新しい言葉を覚える。(20分)	
	10	第1部(短文)12, 13 第3部(情報検索)21, 22					(短文)12, 13を読み直す。(30分) 新しい言葉を覚える。(20分)	
	11	第2部(短文)14～16 第3部(情報検索)23, 24					(短文)14～16を読み直す。(30分) 新しい言葉を覚える。(20分)	
	12	第2部(短文・中文)17～19 第3部(情報検索)25, 26					(短文・中文)17～19を読み直す。(30分) 新しい言葉を覚える。(20分)	
	13	第2部(長文)20 第3部(情報検索)27, 28					(長文)20を読み直す。(30分) 新しい言葉を覚える。(20分)	
	14	第4部(短文)29～32					(短文)29～32を読み直す。(30分) 新しい言葉を覚える。(20分)	
	15	第4部(中文)33～35					(中文)33～35を読み直す。(30分) 新しい言葉を覚える。(20分)	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)小テストを行う。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験	○	◎				80%	
	小テスト		○		◎		20%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。							

専門学校麻生工科自動車 シラバ

科目名	文字語彙Ⅱ (N3)						
科目名(英)							
単位数	4単位		時間数	30時間/60時間		担当者	日浦 由布子
実施年度	2020年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	150時間以上の初級日本語の学習を終えた学生を対象とする。「総合日本語」の授業と連携し、N4～N3レベルの文字語彙を覚え、運用練習を実施する。「聞く・読む・書く・話す」の4つの言語運用能力を支える語彙力を伸ばし、日常生活で問題なくコミュニケーションがとれるようになることを目指す。						
授業形式	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	△				初中級の語彙、約1000の意味や使い方を覚え、文中に正しく書くことができる	
	○					学んだ語彙を正確に発音できるようになる	
	△	○				日常的な場面で使われる日本語を理解するために必要な語彙を区別し、選択することができる	
テキスト・教材参考図書	・松浦真理子 鈴木健司 他 / 『日本語パワードリル N3文字語彙』 / アスク出版 / 2019年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	『日本語パワードリル N3文字語彙』第1回 ～ 第2回				予習：わからない語彙を調べる(40分) 復習：もう一度問題を考える(20分)	
	2	第3回 ～ 第4回				予習：わからない語彙を調べる(40分) 復習：もう一度問題を考える(20分)	
	3	第5回 ～ 第6回				予習：わからない語彙を調べる(40分) 復習：もう一度問題を考える(20分)	
	4	第7回 ～ 第8回				予習：わからない語彙を調べる(40分) 復習：もう一度問題を考える(20分)	
	5	第9回 ～ 第10回				予習：わからない語彙を調べる(40分) 復習：もう一度問題を考える(20分)	
	6	第11回 ～ 第12回				予習：わからない語彙を調べる(40分) 復習：もう一度問題を考える(20分)	
	7	第13回 ～ 第14回				予習：わからない語彙を調べる(40分) 復習：もう一度問題を考える(20分)	
	8	第15回 ～ 第16回				予習：わからない語彙を調べる(40分) 復習：もう一度問題を考える(20分)	
	9	第17回 ～ 第18回				予習：わからない語彙を調べる(40分) 復習：もう一度問題を考える(20分)	
	10	第19回 ～ 第20回				予習：わからない語彙を調べる(40分) 復習：もう一度問題を考える(20分)	
	11	第21回 ～ 第22回				予習：わからない語彙を調べる(40分) 復習：もう一度問題を考える(20分)	
	12	第23回 ～ 第24回				予習：わからない語彙を調べる(40分) 復習：もう一度問題を考える(20分)	
	13	第25回 ～ 第26回				予習：わからない語彙を調べる(40分) 復習：もう一度問題を考える(20分)	
	14	第27回 ～ 第28回				予習：わからない語彙を調べる(40分) 復習：もう一度問題を考える(20分)	
	15	第29回 ～ 第30回				予習：わからない語彙を調べる(40分) 復習：もう一度問題を考える(20分)	
評価方法	・科目「文字語彙Ⅱ(漢字)」と合わせ、総合的に評価する。 (1)定期試験(筆記)を実施する。(2)N3の授業で小テストを数回実施する。(3)漢字の授業で復習テストを数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 ・成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト(N3)	○	○				25%
	復習テスト(漢字)	○	○				25%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

専門学校麻生主科目自動車シラバス

科目名	文字語彙Ⅱ（漢字）						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	30時間/60時間	担当者	高田 久美子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	まず漢字の読みを着実に覚え、その漢字をどのように使うかを習得する。その後、復習し、学習した漢字の定着度の確認をする。また、学習者に一人一文ずつ読ませる形で音読をして、「読み」と発音を意識化させる。						
授業形式	講義：○	演習：△	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				濁点の点々、「っ」「う」等の抜け、付けすぎに注意して書ける	
	○	○				身近な場面で必要とされる漢字が書ける	
	○	○				漢字を正確な発音で読める	
テキスト・教材 参考図書	清水知子・大場理恵子著 / 『N3漢字スピードマスター』 / Jリサーチ出版 / 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	オリエンテーション・ユニット1(1～3)			宿題(復習)プリントをしてください(30分)		
	2	小テスト ユニット1(4～5)まとめ問題A			まとめ問題B 復習プリントをしてください(30分)		
	3	小テスト ユニット2(1～3)			宿題プリントをしてください(30分)		
	4	ユニット2(4～5)まとめ問題A			まとめ問題B 復習プリントをしてください(30分)		
	5	ユニット1・2復習テスト ユニット3(1～2)			宿題プリントをしてください(30分)		
	6	小テスト ユニット3(3～5)			まとめ問題A・Bをしてください(30分)		
	7	ユニット3復習 ユニット4(1～2)			宿題プリントをしてください(30分)		
	8	小テスト ユニット4(3～5)			まとめ問題A・Bをしてください(30分)		
	9	ユニット3・4復習テスト ユニット5(1～2)			宿題プリントをしてください(30分)		
	10	小テスト ユニット5(3～5)			まとめ問題A・Bをしてください(30分)		
	11	ユニット5復習 ユニット6(1～2)			宿題プリントをしてください(30分)		
	12	小テスト ユニット6(3～5)			まとめ問題A・Bをしてください(30分)		
	13	ユニット5・6復習テスト ユニット7(1～2)			宿題プリントをしてください(30分)		
	14	小テスト ユニット7(3～5)			まとめ問題A・Bをしてください(30分)		
	15	ユニット1～7 総合テスト			間違えた問題を復習してください(30分)		
評価方法	・科目「文字語彙Ⅱ(N3)」と合わせ、総合的に評価する。 (1)定期試験(筆記)を実施する。(2)N3の授業で小テストを数回実施する。(3)漢字の授業で復習テストを数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 ・成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト(N3)	○	○				25%
	復習テスト(漢字)	○	○				25%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						



科目名	文法A(メインテキスト)									
科目名(英)										
単位数	4単位			時間数	30時間/60時間		担当者	日浦 由布子		
実施年度	2020年度			実施時期	後期		担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年									
授業概要	150時間以上の初級日本語の学習を終えた学生を対象とする。「総合日本語Ⅱ」の授業と連携し、コミュニケーションの基礎となる文法知識を学習する。N4～N3レベル文法の仕組みや使い方を覚え、日常生活で運用できるようになることを目指す。									
授業形式	講義：○			演習：△	実習：		実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○					初中級文法112を覚え、構造を簡単に説明することができる				
		○				学んだ文法を応用して、文を書くことができる				
	○	○				日常的な場面で使われる日本語を理解するのに必要な文法を応用することができる。				
テキスト・教材 参考図書	・田中よね他/『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版 本冊』/スリーエーネットワーク/2018年									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	オリエンテーション / みんなの日本語Ⅱ 1～25課 復習					間違えた問題をもう一度見て、解き直してください(60分)			
	2	みんなの日本語Ⅱ 26～30課 復習					間違えた問題をもう一度見て、解き直してください(60分)			
	3	みんなの日本語Ⅱ 31～35課 復習					間違えた問題をもう一度見て、解き直してください(60分)			
	4	みんなの日本語Ⅱ 31～35課 まとめテスト・フィードバック					間違えた問題をもう一度見て、解き直してください(60分)			
	5	みんなの日本語Ⅱ 36～40課 復習					間違えた問題をもう一度見て、解き直してください(60分)			
	6	みんなの日本語Ⅱ 36～40課 まとめテスト・フィードバック					間違えた問題をもう一度見て、解き直してください(60分)			
	7	みんなの日本語Ⅱ 41～45課 復習					間違えた問題をもう一度見て、解き直してください(60分)			
	8	みんなの日本語Ⅱ 41～45課 まとめテスト・フィードバック					間違えた問題をもう一度見て、解き直してください(60分)			
	9	みんなの日本語Ⅱ 46～50課 復習					間違えた問題をもう一度見て、解き直してください(60分)			
	10	みんなの日本語Ⅱ 46～50課 まとめテスト・フィードバック					間違えた問題をもう一度見て、解き直してください(60分)			
	11	中級へ行こう 1課 まとめテスト・フィードバック					間違えた問題をもう一度見て、解き直してください(60分)			
	12	中級へ行こう 2課 まとめテスト・フィードバック					間違えた問題をもう一度見て、解き直してください(60分)			
	13	中級へ行こう 3課 まとめテスト・フィードバック					間違えた問題をもう一度見て、解き直してください(60分)			
	14	中級へ行こう 4課 まとめテスト・フィードバック					間違えた問題をもう一度見て、解き直してください(60分)			
	15	中級へ行こう 5課 まとめテスト・フィードバック					間違えた問題をもう一度見て、解き直してください(60分)			
評価方法	・科目「文法A(N3)」と合わせ、総合的に評価する。 (1)定期試験(筆記)を実施する。(2)この授業の中で確認テストを数回実施する。(3)N3の授業の中で小テストを数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
				言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験			○	○				60%	
	確認テスト(メインテキスト)			○	○				20%	
	小テスト(N3)			○	○				20%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。									

科目名	文法A(N3)						
科目名(英)							
単位数	4単位		時間数	30時間/60時間	担当者	日浦 由布子	
実施年度	2020年度		実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	150時間以上の初級日本語の学習を終えた学生を対象とする。「総合日本語Ⅱ」の授業と連携し、コミュニケーションの基礎となる文法知識を学習する。N4～N3レベル文法の仕組みや使い方を覚え、日常生活で運用できるようになることを目指す。						
授業形式	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○					初中級文法112を覚え、構造を簡単に説明することができる	
		○				学んだ文法を応用して、文を書くことができる	
	○	○				日常的な場面で使われる日本語を理解するのに必要な文法を応用することができる。	
テキスト・教材 参考図書	・佐々木仁子、松本紀子/『日本語総まとめN3文法』/アスク出版/2010年 ・田中よね他/『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版 本冊』/スリーエーネットワーク/2018年 ・友松悦子、和栗雅子/『短期集中 初級日本語文法総まとめポイント20』/スリーエーネットワーク/2004年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション / N4文法 総復習				予習のプリントをしてください(30分) 復習問題をしてください(30分)	
	2	使役・使役受身 総復習				予習のプリントをしてください(30分) 復習問題をしてください(30分)	
	3	日本語総まとめN3文法 第1週 1～3日目				予習のプリントをしてください(30分) 復習問題をしてください(30分)	
	4	日本語総まとめN3文法 第1週 4～6日目				予習のプリントをしてください(30分) 復習問題をしてください(30分)	
	5	日本語総まとめN3文法 第2週 1～3日目				予習のプリントをしてください(30分) 復習問題をしてください(30分)	
	6	日本語総まとめN3文法 第2週 4～6日目				予習のプリントをしてください(30分) 復習問題をしてください(30分)	
	7	日本語総まとめN3文法 第3週 1～3日目				予習のプリントをしてください(30分) 復習問題をしてください(30分)	
	8	日本語総まとめN3文法 第3週 4～6日目				予習のプリントをしてください(30分) 復習問題をしてください(30分)	
	9	日本語総まとめN3文法 第4週 1～3日目				予習のプリントをしてください(30分) 復習問題をしてください(30分)	
	10	日本語総まとめN3文法 第4週 4～6日目				予習のプリントをしてください(30分) 復習問題をしてください(30分)	
	11	日本語総まとめN3文法 第5週 1～3日目				予習のプリントをしてください(30分) 復習問題をしてください(30分)	
	12	日本語総まとめN3文法 第5週 4～6日目				予習のプリントをしてください(30分) 復習問題をしてください(30分)	
	13	日本語総まとめN3文法 第6週 1～3日目				予習のプリントをしてください(30分) 復習問題をしてください(30分)	
	14	日本語総まとめN3文法 第6週 4～6日目				予習のプリントをしてください(30分) 復習問題をしてください(30分)	
	15	日本語総まとめN3文法 第1～7週 総復習				予習のプリントをしてください(30分) 復習問題をしてください(30分)	
	評価方法	・科目「文法A(メインテキスト)」と合わせ、総合的に評価する。 (1)定期試験(筆記)を実施する。(2)メインテキストの授業の中で確認テストを数回実施する。(3)この授業の中で小テストを数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験		○	○				60%
確認テスト(メインテキスト)		○	○				20%
小テスト(N3)		○	○				20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

専門学校麻生主科目自動車シラバス

科目名	キャリア教育A						
科目名(英)							
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	日浦 由布子
実施年度	2020年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	進学のための必要事項を学び、各自進学スケジュールを立てる。 他学科の教職員や学生との交流、授業見学などを通して、卒業後の進路について考える。						
授業形式	講義：○		演習：		実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
				○		自分で積極的に情報を収集し、自らの進路を決定できる。	
				○		進学に向けたスケジュールを立て、能動的に準備を進めることができる。	
テキスト・教材 参考図書	必要に応じて、プリントを配布します。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	進路について考える①(進学/就職の準備) / JLPT受験について				課題を作成してください(20分)	
	2~4	他学科学生との交流会				課題を作成してください(20分)	
	5	進路について考える②(夏休みにすべきこと)				課題を作成してください(20分)	
	6~7	進学について考える③(進学ガイダンス)				課題を作成してください(20分)	
	8	進路について考える④(願書・履歴書の書き方)				課題を作成してください(20分)	
評価方法	課題の提出状況で評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題				◎		100%
履修上の注意	毎回課題を出します						

専門学校麻生工科自動車・シラバス

科目名	会話Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	濱田 奈美子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	自分がもつ言語知識を使いロールプレイを行うことで、自分に何が足りなかったのか、どんな言語知識が必要だったのか学生自身が認識することができる。場面に応じた言語表現を印象づけ、課題達成言語能力を伸ばすことを目的とする。また価値観や立場の違う相手のことを理解することを学び、日本語によるコミュニケーション能力として対話力の習得を目指す。						
授業形式	講義：△	演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		学校・職場・地域などの生活場面において、日本語での自然な会話ができる	
	○	○		○		場面に応じた言語表現を正しく使用することができる	
	○					対人関係や物事の処理をスムーズに運ぶために役立つ日本事情が説明できる	
	○		○			正しい日本語のアクセント・イントネーションで発音することができる	
テキスト・教材 参考図書	・中井順子 近藤美美 鈴木真理子 小野恵久子 荒巻朋子 森井哲也 著『会話に挑戦！日本語ロールプレイ』スリーエーネットワーク 2005年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	話題の共有：初対面の人と話す				モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)	
	2	慰める・励ます：友達を慰める・励ます				モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)	
	3	電話対応：電話をかけて伝言を頼む				モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)	
	4	希望を伝える：希望の部屋を探す				モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)	
	5	問い合わせる：電話でアルバイトに応募する				モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)	
	6	許可を求める：日にちの変更の許可を求める				モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)	
	7	依頼する：日常生活でいろいろなことを頼む				モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)	
	8	訂正を求める：先生に訂正を求める				モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)	
	9	申し出る：手伝いを申し出る				モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)	
	10	状況説明をする：交通事故の状況を説明する				モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)	
	11	提案・相談をする：イベントなどの相談をする				モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)	
	12	質問に答える：面接の練習をする				モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)	
	13	助言を求める：進学について教えてもらう				モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)	
	14	確認テスト					
	15	確認テスト					
評価方法	(1)会話作成・発表(積極性・内容) (2)確認テスト(口頭) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○	○	○		50%
	会話作成・発表	○	○	○	○		50%
履修上の注意							

科目名	聴解Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	河崎 新弥		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	「新完全マスターN2聴解」を使用し、各問題の特徴と正答を導くためのポイントを学びます。 解法を学んだ後は、できるだけ多くのN2問題を解くことでN2に合格できるための聴解力を養成します。						
授業形式	講義：△	演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					具体的な課題解決に必要な情報を聞き取り、次に何をするのが適当か選択できる。	
	○					事前に示されている聞かすべきことをふまえ、ポイントを絞って聞くことができる。	
	○					テキスト全体から話者の意図や主張などが予測できる。	
	○					質問などの短い発話を聞いて、適切な応答ができる。	
	○					長めのテキストを聞いて、複数の情報を比較・統合しながら、内容が予測できる。	
テキスト・教材 参考図書	・中村かおり 福島佐知 友松悦子 著『新完全マスターN2聴解』スリーエーネットワーク 2011年 ・星野恵子 辻和子 著『ドリル&ドリルN2聴解・読解』UNICOM 2010年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	「即時応答」のスキルを学ぶ 最初の文を理解する				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	2	「即時応答」のスキルを学ぶ 返事の文を考える				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	3	「課題理解」のスキルを学ぶ すべきことを理解する				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	4	「課題理解」のスキルを学ぶ 最初にすることを考える				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	5	「ポイント理解」のスキルを学ぶ 話し手の意図を考える				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	6	「ポイント理解」のスキルを学ぶ 言い換え/必要な情報を拾う				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	7	「概要理解」のスキルを学ぶ 例と例をまとめる言葉/キーワード				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	8	「概要理解」のスキルを学ぶ 話の主題をまとめる/意見・主張				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	9	「統合理解」のスキルを学ぶ				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	10	「新完全マスターN2聴解」 模擬問題				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	11	確認テスト・復習				学習した箇所を復習してください。(1時間)	
	12	N2聴解演習「ドリル&ドリルN2聴解」 課題理解				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	13	N2聴解演習「ドリル&ドリルN2聴解」 ポイント理解				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	14	N2聴解演習「ドリル&ドリルN2聴解」 概要理解・即時応答				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	15	N2聴解演習「ドリル&ドリルN2聴解」 即時応答・統合理解				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
評価方法	(1)授業の中で確認テストを実施する。(2)定期試験(リスニング)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		○				50%
	確認テスト		○		○		50%
履修上の注意	各自、音声教材をダウンロードし、予習復習ができる環境を作ってください。						

専門学校麻生主科自動車シラバス

科目名	作文Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	今村 真紀子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	身近なテーマについて自己表現し、それが相手にきちんと伝わり、相互理解できるようにする。小論文が書けるようにする。単文のミスを少なくし、複文を使って複雑な文が書けるようにする。						
授業形式	講義：△	演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				既習の言葉・表現から適切なものを選んで使用し、作文を書くことが出来る。	
	○	○				文章の構成に注意しながら、意見文を書くことが出来る。	
テキスト・教材 参考図書	・『みんなの日本語 やさしい作文』 スリーエーネットワーク ・松岡龍美 目黒真実 青山豊 著 『記述問題テーマ100』 凡人社 2010年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	日本でびっくりしたこと①				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	2	日本でびっくりしたこと②				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	3	意見文の書き方				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	4	意見文①－1「マンションか一戸建てか」				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	5	意見文①－2				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	6	意見文②－1「大企業か働きがい」				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	7	意見文②－2				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	8	意見文③－1 留学試験過去問①				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	9	意見文③－2				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	10	私の友だち①				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	11	私の友だち②				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	12	私のアルバイト①				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	13	私のアルバイト②				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	14	意見文④－1 留学試験過去問②				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
15	意見文④－2				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)		
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	宿題・レポート	○	○		○		50%
履修上の注意							

科目名	読解Ⅱ							
科目名(英)								
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	河崎 新弥	
実施年度	2020年度		実施時期	後期		担当者実務経験		
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年							
授業概要	「指示詞」「主語述語」「比喩」など読解のストラテジーをテーマごとに学習し、読解の基礎力を固める。その後、JLPTに即した問題で練習しながら、出題のパターンと解法をつかむ。							
授業形式	講義：○		演習：△		実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○	○				複雑な文や文章の構造が区別できるようになる。		
	○	○				500字程度の中文を読み、内容の事実関係や筆者の考えなどを読み取ることができる。		
	○	○				900字程度の長文を読み、全体として伝えようとしている主張や意見がつかめる。		
	○	○				600字程度の複数の文章を読み比べて、比較したり統合したりしながら予測できる。		
	○	○				700字程度の広告やパンフレットを読んで、必要な情報を見つけることができる。		
テキスト・教材 参考図書	・氏原庸子 清島千春 佐伯玲子 著『N2読解必修パターン』Jリサーチ出版 2017年							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	基礎編 第1章 短文・中文：指示詞、事実関係				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	2	基礎編 第1章 短文・中文：言葉の意味、話の展開				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	3	基礎編 第1章 短文・中文：人物の気持ち、理由や根拠				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	4	基礎編 第1章 短文・中文：全体の内容、筆者が言いたいこと				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	5	基礎編 第1章 短文・中文：連絡文、情報検索				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	6	基礎編 第2章 長文A：解説、論説				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	7	基礎編 第2章 長文B：エッセイ、小説、紀行文				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	8	確認テスト /フィードバック				確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)		
	9	対策編 第1章 対策準備				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	10	対策編 第2章 実践練習(内容理解)：短文				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	11	対策編 第2章 実践練習(内容理解)：中文				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	12	対策編 第2章 実践練習(統合理解)				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	13	対策編 第2章 実践練習(主張理解)				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	14	対策編 第2章 実践練習(情報理解)				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	15	確認テスト /フィードバック				確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で確認テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験	○	○				50%	
	確認テスト	○	○		○		50%	
履修上の注意								

科目名	文字語彙Ⅱ					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	河崎 新弥	
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年					
授業概要	日本語能力試験N2の問題を数多く解くことで、試験の傾向や特徴をつかみ、N2に合格できる語彙力を養成する。 またテキスト以外にも様々な文章に触れ、語彙を広げる。					
授業形式	講義：△	演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					漢字の読み方・書き方がわかる。
	○	○				派生語や複合語を覚えて、使うことができる。
	○	○				文に合った適切な言葉を選ぶことができる。
	○	○				ある言葉や表現と意味的に近い言葉や表現を覚え、使うことができる。
	○	○				ある語が文の中でどのように使われるか理解し、使うことができる。
テキスト・教材 参考図書	松浦真理子 鈴木健司 監修 『日本語パワードリルN2文字・語彙』 アスク出版 2010年					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	「日本語パワードリルN2文字語彙」1～2回				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	2	「日本語パワードリルN2文字語彙」3～4回				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	3	「日本語パワードリルN2文字語彙」5 ・ 復習				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	4	「日本語パワードリルN2文字語彙」1～5回テスト 集中トレーニング(動詞・擬音語)				確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)
	5	新聞・ニュースなどの語彙				授業で学んだ言葉・表現を復習すること(0.5時間)
	6	「日本語パワードリルN2文字語彙」6～7回				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	7	「日本語パワードリルN2文字語彙」8～9回				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	8	「日本語パワードリルN2文字語彙」10回 ・ 復習				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	9	「日本語パワードリルN2文字語彙」6～10回テスト 集中トレーニング(カタカナ語)				確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)
	10	新聞・ニュースなどの語彙				授業で学んだ言葉・表現を復習すること(0.5時間)
	11	「日本語パワードリルN2文字語彙」11～12回				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	12	「日本語パワードリルN2文字語彙」13～14回				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	13	「日本語パワードリルN2文字語彙」15回 ・ 復習				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	14	「日本語パワードリルN2文字語彙」11～15回テスト 集中トレーニング(接続語)				確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)
	15	新聞・ニュースなどの語彙				授業で学んだ言葉・表現を復習すること(0.5時間)
	16	「日本語パワードリルN2文字語彙」16～17回				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	17	「日本語パワードリルN2文字語彙」18～19回				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	18	「日本語パワードリルN2文字語彙」20回 ・ 復習				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	19	「日本語パワードリルN2文字語彙」16～20回テスト 集中トレーニング(副詞・慣用句)				確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)
	20	新聞・ニュースなどの語彙				授業で学んだ言葉・表現を復習すること(0.5時間)
	21	「日本語パワードリルN2文字語彙」21～22回				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	22	「日本語パワードリルN2文字語彙」23～24回				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	23	「日本語パワードリルN2文字語彙」25回 ・ 復習				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	24	「日本語パワードリルN2文字語彙」21～25回テスト 集中トレーニング(慣用句)				確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)
	25	新聞・ニュースなどの語彙				授業で学んだ言葉・表現を復習すること(0.5時間)
	26	「日本語パワードリルN2文字語彙」26～27回				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)





科目名	文法A										
科目名(英)											
単位数	4単位		時間数		60時間		担当者		戸部田 紀久子		
実施年度	2020年度		実施時期		後期		担当者実務経験				
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年										
授業概要	日本語能力試験N2レベルの文法項目を学びます。例文を参考にしながら、意味や接続の形などを学びます。文を作ったり、文章を読んだりしながら、その文法がどのように使われているかを知ります。文法を学ぶことで、N2レベルの会話を聞いたり、文章を読んだりするための基礎力を高めます。										
授業形式	講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○	○				文の内容に合った文法形式かどうかを判断し、文を作ることができる。					
	○	○				N2レベルの文法知識を使って、意味が通る文を組み立てることができる。					
テキスト・教材 参考図書	遠藤ゆう子 著 遠藤由美子 監修「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」三修社 2010年 「日本語能力試験対策N2文法問題集」三修社 2010年										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第1週復習					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	2	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第2週1日目～2日目①					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	3	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第2週2日目②～3日目					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	4	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第2週4日目					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	5	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第2週5日目					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	6	第2週 確認テスト ・復習					確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)				
	7	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第3週1日目～2日目①					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	8	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第3週2日目②～3日目					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	9	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第3週4日目～5日目①					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	10	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第3週5日目②～第4週1日目					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	11	第3週 確認テスト ・復習					確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)				
	12	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第4週2日目～3日目①					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	13	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第4週3日目②～4日目					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	14	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第4週5日目～第5週1日目①					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	15	第4週 確認テスト ・復習					確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)				
	16	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第5週1日目②～2日目					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	17	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第5週3日目～4日目①					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	18	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第5週4日目②～5日目					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	19	第5週 確認テスト ・復習					確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)				
	20	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第6週1日目～2日目①					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	21	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第6週2日目②～3日目					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	22	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第6週4日目～5日目①					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	23	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第6週5日目②～第7週1日目					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	24	第6週 確認テスト ・復習					確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)				
	25	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第7週2日目～3日目①					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	26	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第7週3日目②～4日目					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	27	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第7週5日目～第8週1日目①					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
28	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第8週1日目②～2日目					教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)					

	29	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第8週3日目～4日目①	教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	30	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第8週4日目②～5日目	教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
評価方法	(1)授業の中で確認テストを実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	確認テスト	○	○		○		50%
履修上の注意							

科目名	キャリア教育A									
科目名(英)										
単位数	1単位		時間数		15時間		担当者		河崎 新弥	
実施年度	2020年度		実施時期		後期		担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年									
授業概要	進学のための必要事項を学び、各自進学スケジュールを立てる。 他学科の教職員や学生との交流、授業見学などを通して、卒業後の進路について考える。									
授業形式	講義: ○		演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
				○		積極的に情報を収集し、自らの進路を決定する。				
				○		進学に向けたスケジュールを立て、能動的に準備を進めることができる。				
テキスト・教材 参考図書	必要に応じて、資料を配布します。									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	年間学習スケジュール・教科書ガイダンス・JLPTについて								
	2~4	他学科学生・教員との交流会								
	5~8	ホームルーム・進学指導								
評価方法	レポートで評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	レポート				◎		100%			
履修上の注意										

科目名	総合日本語Ⅱ											
科目名(英)												
単位数	11単位				時間数		170時間		担当者	日浦・河崎・加藤		
実施年度	2020年度				実施時期		後期		担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年											
授業概要	150時間以上の初級日本語の学習経験がある学生を対象とする。初中級(N4～N3)レベルの文法・語彙・聴解・会話表現を総合的に学習し、実際に日常生活で使えるようになることを目指す。											
授業形式	講義：○				演習：△		実習：		実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
	○	○				40以上の初中級文法を使って、自分の言いたいことが言える						
	○	○				初中級語彙750語を覚えて、適切な場面で正しいことばを選択できる						
	○	○				40以上の会話表現を適切な場面で正しく応用できる						
テキスト・教材 参考図書	・田中よね他/『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版 本冊』/スリーエーネットワーク/2018年 ・平井悦子他/『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版 書いて覚える文型練習帳』/スリーエーネットワーク/2014年 ・田中よね他/『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版 翻訳・文法解説』/スリーエーネットワーク/2016年 ・大越泰子/『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版 標準問題集』/スリーエーネットワーク/2013年 ・平井悦子・三輪さち子/『中級へ行こう 日本語の文型と表現55 第2版』/スリーエーネットワーク/2017年											
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示				
	1～4	31課 自分の意思や計画を話すことができる。予定が説明できる。						予習・復習をしてください(各30分) :練習B、プリント				
	5～8	32課 忠告や助言ができる。 推量したことを確かさの程度によって言い表せる。						予習・復習をしてください(各30分) :練習B、プリント				
	9～11	33課 指示・命令がわかる。伝言、人の話を伝えることができる。						予習・復習をしてください(各30分) :練習B、プリント				
	12～15	34課 何かするときの基準や模範を表すことができる。 2つの前後関係が言える。動作をどのような状態ですか説明できる。						予習・復習をしてください(各30分) :練習B、プリント				
	16～19	35課 あることが実現するのに要する仮定条件が言える。ある条件の中での判断を言ったり、アドバイスや指示を求めることができる。						予習・復習をしてください(各30分) :練習B、プリント				
	20～22	36課 到達目標や努力目標が言える。人の能力や物事の状況が変わったことが言える。						予習・復習をしてください(各30分) :練習B、プリント				
	23～26	37課 人から受けた行為や迷惑に感じた体験を受身表現を使い、話す人の視点から話せる。状況や事実を受身表現を使って説明できる。						予習・復習をしてください(各30分) :練習B、プリント				
	27～30	38課 感想、評価、好き嫌い、上手下手などが言える。しなければならないことを忘れたと言える。情報を知っているかどうか聞ける。伝えたいことを強調して伝えられる。						予習・復習をしてください(各30分) :練習B、プリント				
	31～34	39課 あることが原因で、その結果である感情や事態が生じたことを説明することができる。丁寧に理由を言ったり、弁解したり、事情を説明したりできる。						予習・復習をしてください(各30分) :練習B、プリント				
	35～38	40課 疑問文を文の中に入れて、感想、判断が言える。やってみようと思うことが言える。						予習・復習をしてください(各30分) :練習B、プリント				
	39～42	41課 上の人、下の人、親しい人、親しくない人の関係を考えて、「あげる・くれる・もらう」表現を使うことができる。丁寧に頼める。						予習・復習をしてください(各30分) :練習B、プリント				
	43～46	42課 目的や目的を達成するためにすることが言える。物の使い方、評価が言える。何かをするときに必要な時間、経費(お金)が言える。						予習・復習をしてください(各30分) :練習B、プリント				
	47～49	43課 物を見て、様態や予想が言える。目的を終えて、元の場所に戻ることが伝えられる。						予習・復習をしてください(各30分) :練習B、プリント				
	50～52	44課 程度が度を越し、よくない状態になったことが言える。物を使う時の難しさを言って、評価が言える。						予習・復習をしてください(各30分) :練習B、プリント				
	53～55	45課 ある事態を想定して、どうしたらいいか言える。思っていたのと違う結果に、話す人の意外な感じや不満の気持ちが言える。						予習・復習をしてください(各30分) :練習B、プリント				
	56～58	46課 動作の段階を言って、物事の状況を説明できる。終わってから あまり時間が経っていない感じが言える。話す人が確信していることが言える。						予習・復習をしてください(各30分) :練習B、プリント				
	59～61	47課 他からもらった情報をそのまま伝えることができる。 自分の五官(目・耳・鼻・舌・皮膚)で感じた状況から判断して言える。						予習・復習をしてください(各30分) :練習B、プリント				
	62～65	48課 他の人(目下の人)への行為を強制したり、許可・容認を表すことができる。丁寧に許可を求めることができる。						予習・復習をしてください(各30分) :練習B、プリント				
	66～69	49課 「上下」「ウチ・ソト」の尊敬語を理解し、使うことができる。						予習・復習をしてください(各30分) :練習B、プリント				
70～73	50課 「上下」「ウチ・ソト」の敬語を理解し、謙譲語を使うことができる。						予習・復習をしてください(各30分) :練習B、プリント					
74～85	中級へ行こう1～5課						宿題をしてください(各30分) :短作文、プリント					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で確認テストを数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
							言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験						○	○				60%
	確認テスト						○	○				40%
履修上の注意												